

令和2年度 北海道札幌白石高等学校の学校評価

保護者評価結果 前期・後期比較

4	そう思う・よくできている	2	どちらかというと思わない
3	どちらかというと思う	1	そう思わない

領域	No.	評価観点	前期・後期比較	前期
				後期
学習指導	1	教科・科目の目標に沿って計画的な授業が行われ、学習方法・評価・指導計画についてわかりやすく説明されている。		3.0
	2	生徒の興味・関心を高めるための授業方法が工夫がされている。		2.9
	3	生徒の家庭学習の習慣化に向けた取り組みを行っている。		2.7
生徒指導・教育相談	4	身だしなみ(服装・頭髪等)やマナー指導等、規範意識を高めるための指導が適切に行われている。		3.2
	5	「いじめの未然防止」に努めている。また、問題発生時には適切な対応がされている。		3.0
	6	悩みや問題を抱えている生徒に対して、適切な相談や支援が行われている。		2.9
	7	本校の二人担任制は、生徒の個に応じた指導を行い、生徒相談体制の充実やいじめの未然防止・早期発見等にも大きな効果をあげている。		3.2
	8	交通安全、防犯、防災等の危機管理に対する指導が、適切に行われている。		3.2
	9	心身の健康や性に関する指導が積極的に行われている。		2.9
進路指導	10	生徒の進路意識を啓発し、将来の展望を明確にするためキャリア教育の充実を図っている。		3.0
	11	講習や模擬試験、個別指導等の進路に関する取組は、生徒の進路目標達成を支援するものとなっている。		2.9
	12	進路指導体制は、進路説明会等を通じて保護者と連携を図った取組となっている。		3.1
特別活動	13	学校行事や生徒会活動の活性化に努め、生徒の主体的な参加ができるよう努めるとともに、生徒の豊かな人間性が育成されている。		2.9
	14	「文武両道の達成」に向けて、学習と部活動とのバランスを考えた指導が行われている。		3.0
	15	本校の教職員は、学校行事や部活動に対して親身になって関わってくれている。		3.0
組織運営	16	本校の教育活動に関する情報提供は、ホームページやクラッシーを通じて積極的に行われている。		3.2
	17	本校のPTA活動は、関係機関との連携・協力が図られ、開かれた学校づくりを推進している。		3.1
	18	学校の教職員は、電話や相談等で学校を訪れた時など、誠意ある対応がされている。		3.0
	19	緊急時の対応は、マメール等を通じた的確な情報提供が行われている。		3.2
	20	「働き方改革」北海道アクションプランに基づく学校職員の勤務時間の縮減について、よく理解できる。		3.3